



(題字 小黒千足 学長)

第336号
(平成4年8月号)



▲ 平成4年度富山大学説明会 (平成4年7月31日(金) 於: 黒田講堂)
(円内は、本学の特色・特徴を力説する小黒学長)

目 次

学 内 諸 報	職 員 消 息	20
◆ 富山大学説明会の開催	お 知 ら せ	
◆ 平成4年度富山大学と高等学校との 入学試験に関する懇談会の実施	◆ 平成4年度人事院勧告の概要	21
◆ 実験廃棄物の取扱いに関する講習会 の実施	主 要 行 事	31
◆ 平成4年度富山大学リカレント学習 コースの開設		
◆ 工学部電子情報工学科実験研究棟の 竣工		
聴いて・見て・触れて —おもしろ夢大学 in TOYAMA—		8
人 事 異 動		10
関 係 法 令		10
諸 会 議		10
学 内 規 則		
◆ 富山大学理学部規則の一部改正		11
◆ 富山大学新教育課程実施委員会内規 の制定		17
叙 位 ・ 叙 勲		18
学 位 取 得 者		18
海 外 渡 航 者		19



○ ○ ○ 将来の夢と希望を胸に多くの高校生が参集 ○ ○ ○

『富山大学大学説明会』

平成4年度富山大学説明会が、去る7月31日(金)本学黒田講堂をはじめ、各学部で実施されました。(表紙写真参照)

今年で5回目の開催となるこの大学説明会は、昨年から全学部が参加して開催され、今年度は、富山、石川両県をはじめ滋賀県、静岡県及び山梨県からも高校生が参加し、午前の全体説明会には530名、午後の学部説明会には約600名が参加し、熱心に教職員の説明に耳を傾けていました。

午前の全体説明会では、まず、小黒学長から、本学の特色・魅力をアピールするあいさつがあり、次いで、

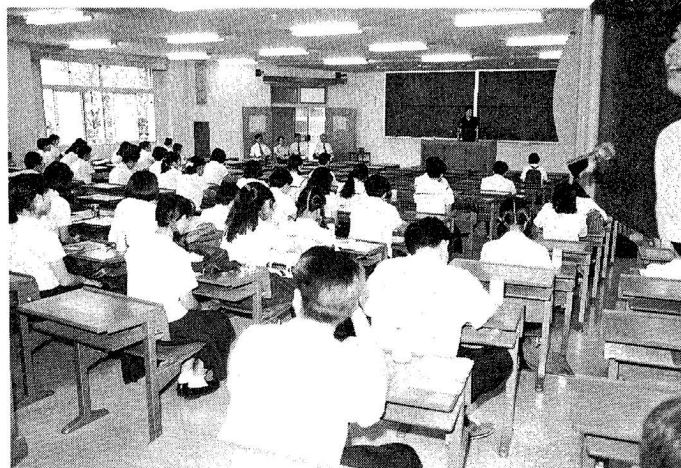
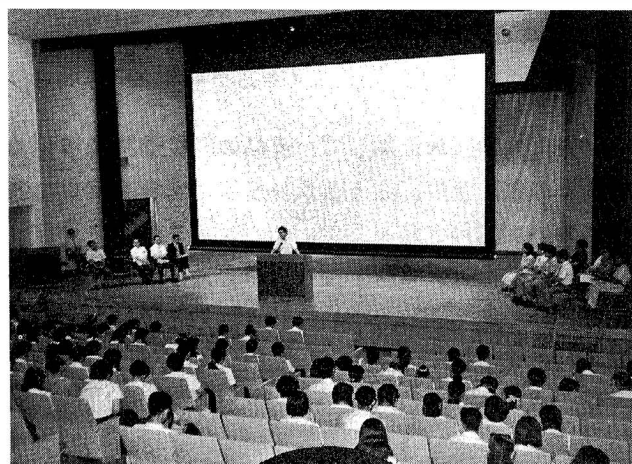
増田学生部長から、各学部の概要、学生生活、就職状況及び卒業生の活躍などの紹介が行われた後、平成5年度入試要項の説明と大学紹介のビデオが上映されました。

引き続き、午後からは各学部に分かれ、それぞれ特色・特徴を活かした学部説明会が行われ、教育・研究内容の紹介や在学生から大学生活の体験談が披露されたほか、実験室、演習室並びに附属図書館及び情報処理センターを見学する等して工夫が凝らされました。説明会に参加した高校生たちは、本学の教育研究等の実体に目を見張らせていました。

▼ 附属図書館閲覧室で行われた人文学部会場



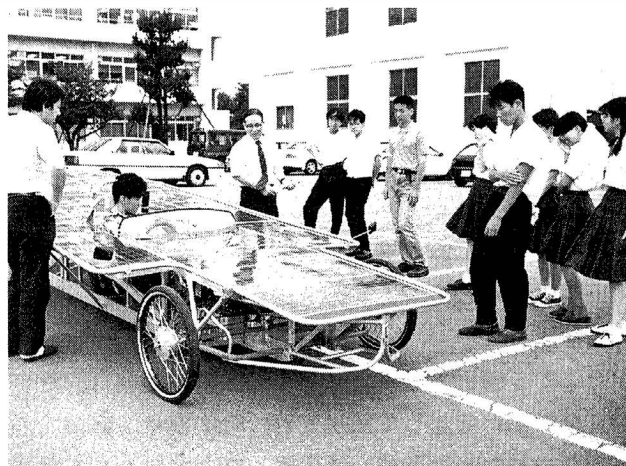
▼ 黒田講堂ホールで引き続き行われた教育学部会場



▲ 在学生の体験談が披露された経済学部会場



▲ 実験室巡りが行われた理学部会場



▲ 手造りのソーラーカーに目を見張る工学部会場

高等学校との入学試験に関する懇談会

一方、入学試験に関して、近隣の高校進路指導担当教諭との懇談会が、去る7月16日(木)本学黒田講堂会議室において開催されました。

この懇談会は、高等学校に本学の入学試験や教育研究などについて理解を深めていただくことを目的に開催されたもので、今年度は、富山、石川両県のほか福井県、岐阜県の高校からも参加があり、増田学生部長

ほか本学関係教職員合わせて約100名の出席により、予定時間を超過して熱心に懇談が行われました。

出席者からは、昨年度多くの追加合格を出したことへの対策及び推薦入学についての質問・要望が多く寄せられるなど、高校関係者の本学への強い関心と期待が感じられました。



全学教職員・学生を対象に

実験廃棄物取扱い講習会

——— 平成4年7月20日(月) 於：黒田講堂 ———

学内から大量に排出される実験廃棄物の適正な取扱いと処理を願う必要から、去る7月20日(月)黒田講堂において実験廃棄物取扱い講習会が開催されました。

約400名が出席してほぼ満員となったこの講習会では、まず、小黒学長から、世界的規模で地球環境保全の重要性が叫ばれている今日、教育研究を推進する大学においても環境保全について高いモラルと行動が望まれている。この観点から、本学においても秩序ある学園環境の維持に努めてほしいとあいさつがありました。

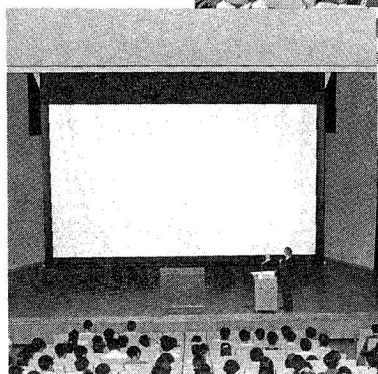
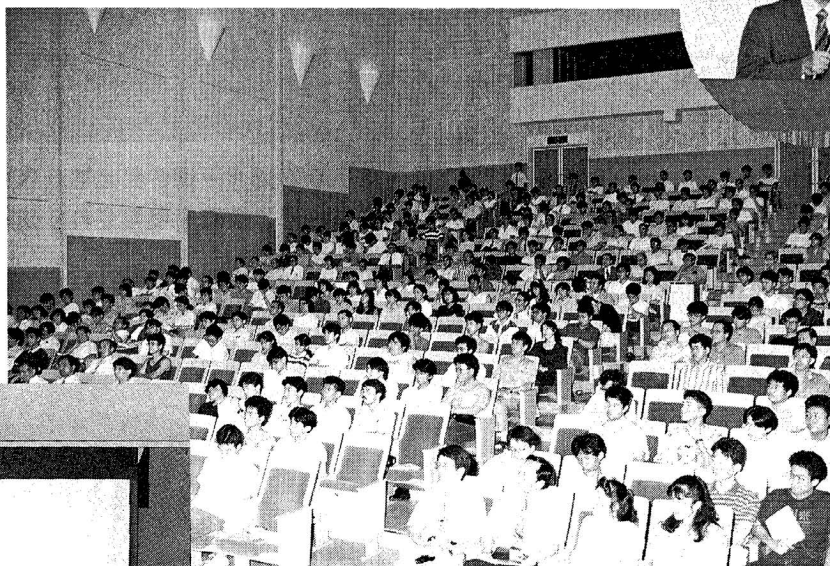
次いで、野村廃液処理室運営委員会委員長（教育学部教授）から、実験廃棄物の処理についての各大学の対応状況及び大学等における廃棄物の特殊性・多様性と公害防止の必要性について、また、後藤廃液処理施

設長（理学部教授）からは、本学における実験廃棄物の処理方法の概要及び各種有害物質の排水基準と実験廃液洗浄の際の注意事項について説明がありました。

引き続き、廃液処理施設担当の理学部笠原助手から、廃液処理施設への廃液搬入の手順など実際の利用に当たっての留意事項と協力依頼について説明があり、講習会を終了しました。

この講習会の実施に伴い、教職員・学生に、適正な実験廃棄物の処理が環境保全に密接にかかわっていることが再認識願え、また、種々の実験においては、廃液の区分の徹底及び有機溶媒の回収・再利用に努め、実験スケールを縮小するなどして廃液排出を必要最小限とする認識が深まり、今後より適正な処理が行われるものと期待されます。

▶ 実験廃液の処理についても大学の姿勢が問われているとあいさつする小黒学長



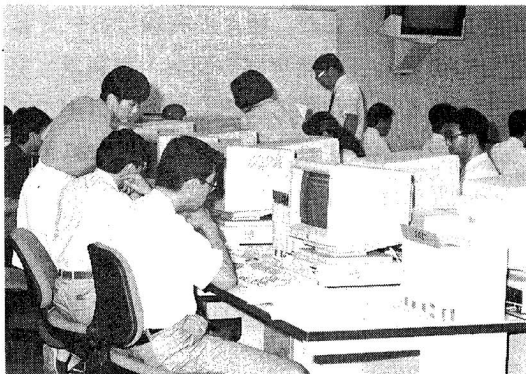
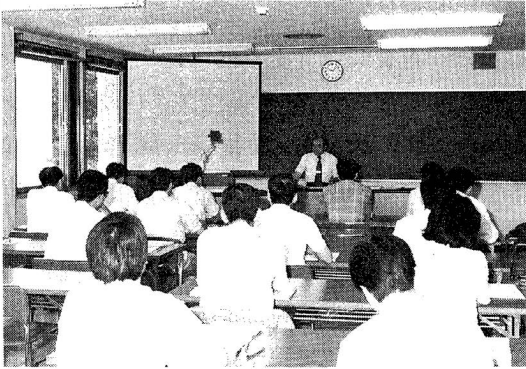
◀ OHPと配付資料によりきめ細かな説明が行われる

富山地域リカレント教育推進事業

— 富山大学リカレント学習コース —

『ビジネスマンのため情報科学』で大きな成果!!

—— 県内高等教育機関として初の企画 ——



▲ 本学情報処理センターで開設された第1回富山大学リカレント学習コース

(午前には講義、午後は実習と精力的に実施される)

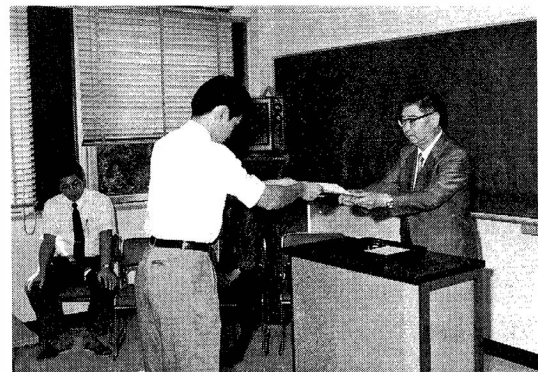
学校教育を修了し社会で働く人が、必要に応じて再び学校で教育を受けるシステムで、大学等の高等教育機関が働く人々のニーズに応じて様々な学習の場を提供する画期的な教育「リカレント教育」の学習コースが、このたび、県内高等教育機関の初の企画として、本学で実施されました。

このリカレント学習コースは、全国で4番目の地域として文部省から委嘱を受けた「富山地域リカレント教育推進協議会」のリカレント教育推進事業の一環で、「ビジネスマンのための情報科学」と題して、去る7月20日(月)から7月24日(金)の5日間にわたって本学情報処理センターで開設されました。(学習コースの内容は、前月号に掲載してあります。)

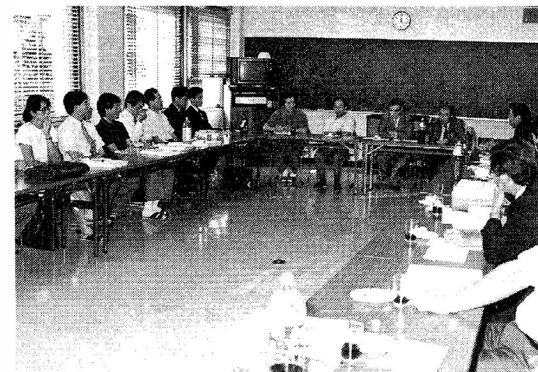
午前が講義、午後は実習と精力的に行われたこの学習コースには、定員20名の募集に県内企業の社会人技術者等21名が受講し、大型コンピュータを用いてのデー

タベースの作成法、経営情報システムの企画・作成・手順及び仕業計画支援モデルシステムの作成、更に科学的経営管理手法及びファジー理論を修得し、大きな成果を挙げました。今後、受講者は、各職場において業務の合理化、効率化のためのコンピュータ導入等に際し、その企画推進の中心的役割りを果してくれるものと期待されます。

また、修了証書を授与された受講者からは、今後とも、システム開発のための最新の技術や考え方についての学習コースを継続して開設してほしいと要望が出されるなど、今後の生涯学習社会のニーズに対応した社会人・職業人のためのリカレント教育推進の必要を再認識させられた学習コースとなりました。



▲ 5日間の受講を終えて八木情報処理センター長から修了証書を授与される受講者

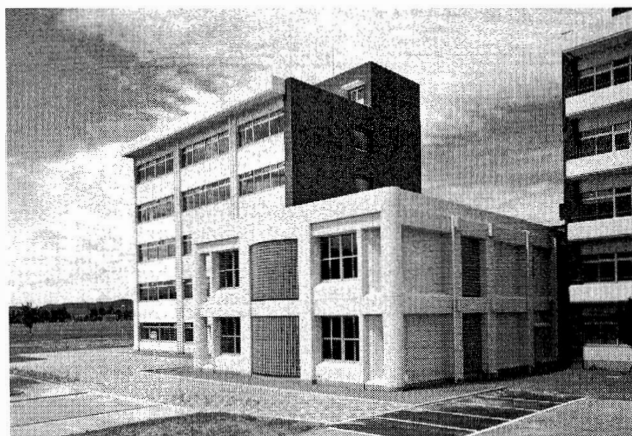


▲ 今後のリカレント教育推進のため、最終日懇談会がもたれ、活発な意見交換が行われる

建物の新営

工学部電子情報工学科実験研究棟が完成

—— 7月31日竣工 ——



このたび、本学工学部電子情報工学科の実験研究棟が現電子情報工学科建物に隣接して完成しました。

平成元年度に改組拡充された工学部電子情報工学科では、平成2年10月に学生が専門教育課程へ移行しましたが、実験室及び講義室等に不足を生じ、教育・研究に支障を来たしていました。昨年、平成3・4年度国債事業として新営予算が認められ、平成3年10月から施工されていたものです。

なお、新営建物の概要は、次のとおりです。

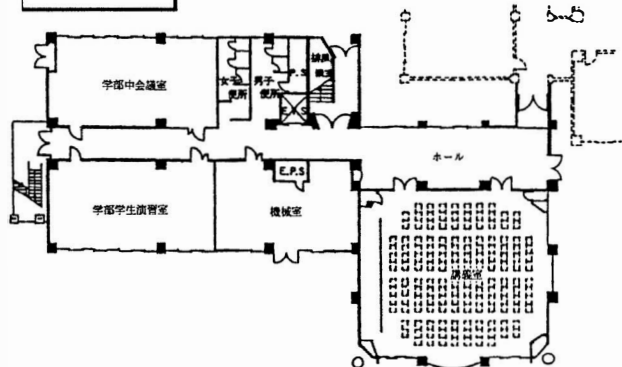
構造・面積	鉄筋コンクリート5階建 2,244㎡
工事期間	平成3年10月12日～平成4年7月31日
工事費	443,415千円
設計・施工	

(設計) 本学施設課 [構造] 榊鈴木一級建築士事務所

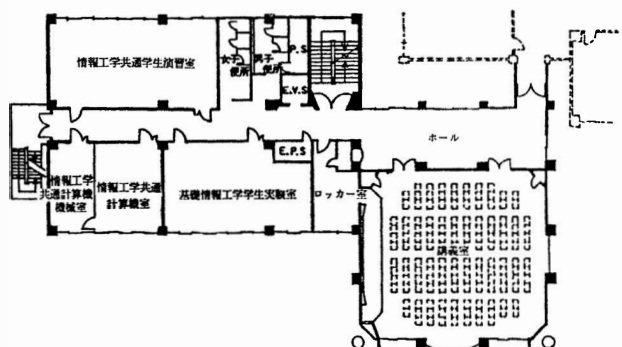
(施工) [建築] 大成建設株式会社
[電気] 株式会社アベックス和光
[設備] 川崎設備工業株式会社
[エレベーター]

日本エレベーター製造株式会社

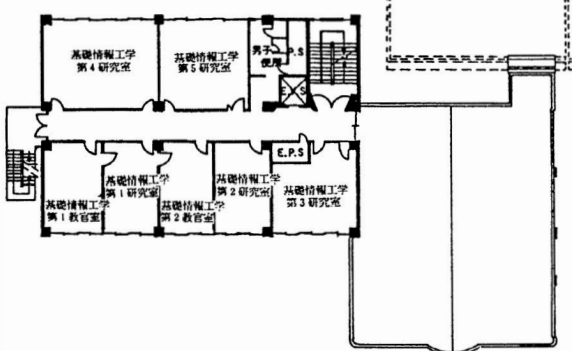
平面図



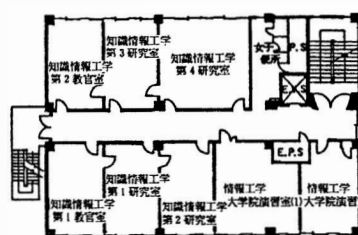
1階平面図



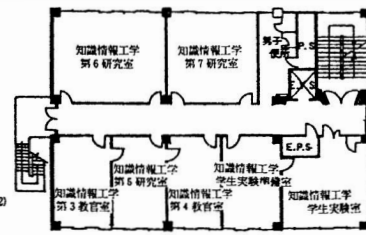
2階平面図



3階平面図



4階平面図



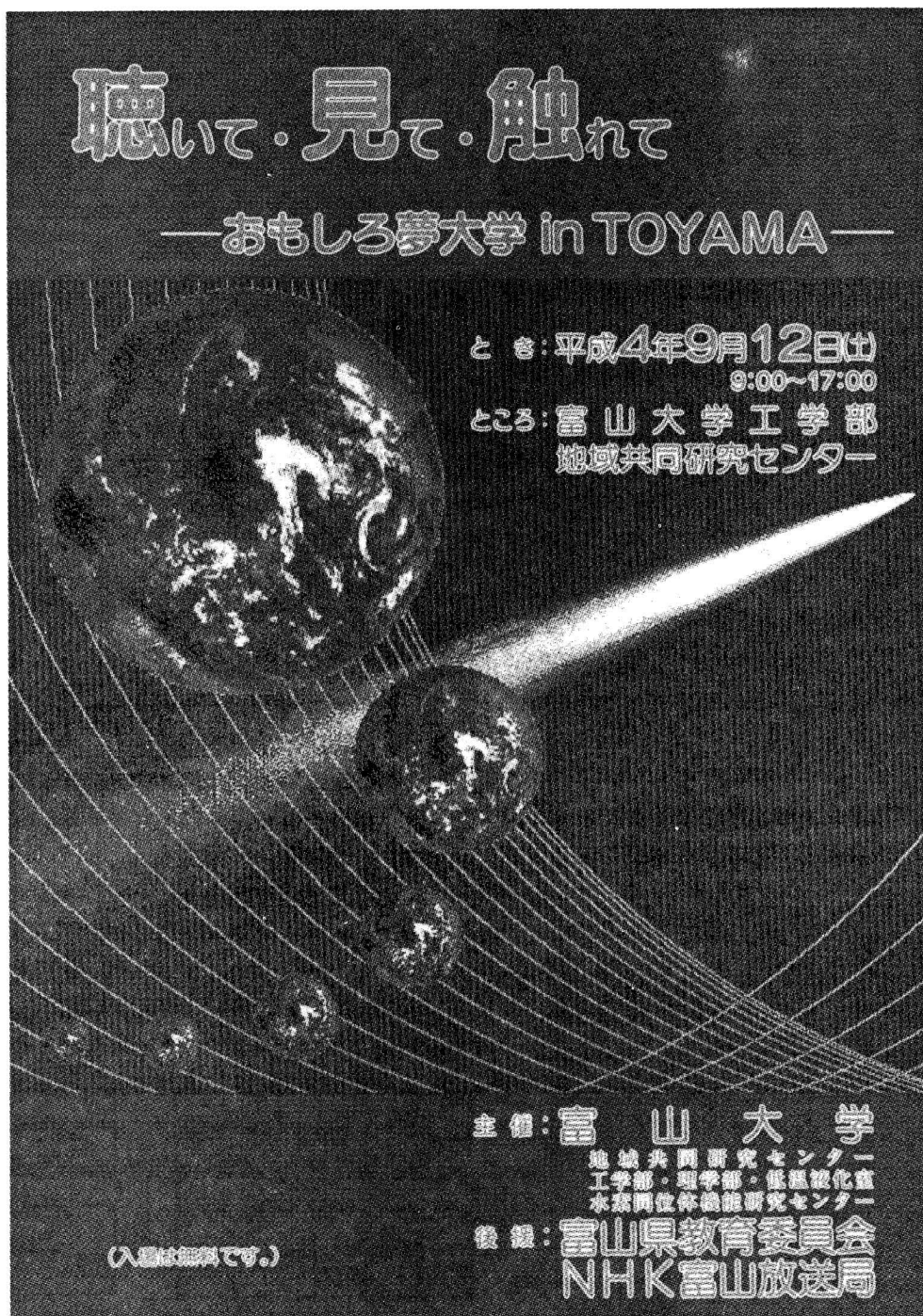
5階平面図

イベント開催のお知らせ

平成4年9月12日(土)

地域における大学と社会との連携・協力推進のためのイベント

—— 学校5日制に呼応して、小・中・高校生の参加もOK!! ——



国立5大学で実施

イベントプログラム

場所 時刻	地域共同研究センター 教育研修室	電子情報工学科 1階 講義室	電子情報工学科 1階 学生演習室 中会議室	地域共同研究センター前 駐 車 場	地域共同研究センター 材料試験室 1,2	物 質 工 学 科 6階 演 習 室	工学部 講義棟 講義棟 1階ホール	工学部 講義棟 103,105 講義室	地域共同研究センター 化 学 実 験 室	工 学 部 講義棟 1階ホール	工 学 部 106 講 義 室	工 学 部 207 講 義 室
9:00				開 会 式								
10:00	*共同研究相談・ パネル展示 コーナー (終日開設) (アンケート)	*学術講演 “超電導いま みらい” 客員教授 田中 靖三 質疑応答	*パネル展示 “工学部研究紹介” ◇ 電子情報工学科 ◇ 機械システム工学科 ◇ 物質工学科 ◇ 化学生物工学科 (終日開設) (アンケート)	*富山商業高等学校 “ドリル演奏” *夢の自動車 ソーラーカー 原理解説と 走行実演 (第1回目)	*走査型電子顕微 鏡観察 コーナー “いつでも みれるミクロ の世界” 身近なもの なんでもOK! *トンネル顕微鏡 観察コーナー “いつでもみれる 原子・三次元 の世界”	*ワークステーション に触れるコーナー “ワークステーション っておもしろい”	*研究紹介 :低温液化室 “極低温の世界 — 200℃では何 が起きるか — ” (第1回目) (アンケート)	*大学紹介 ビデオコーナー “大学は、いま” *科学技術 ビデオコーナー “科学技術と 人間” 〔終日連続放映〕	*実験:理学部 “たのしい 化学反応” 化学科 教授 尾島 十郎ほか (アンケート)	*水素同位体 機能研究 センター紹介 :エネルギーを 考える ◇ パネル展示 “トリチウム” ってなーに” “水素の魅力” ◇ デモンスト レーション “水素の 利用原理” “プラズマ 発光” 〔繰り返し実施〕	*映画コーナー “科学技術と 人間” 富山県総合情報センター の視覚ライブラリーか ら16ミリ映画 〔終日連続放映〕	*研究紹介: 理学部 “地磁気は気候 を変えるか” 地球科学科教授 広岡 公夫 (アンケート)
11:00		超電導浮上実演 パネル展示 (アンケート)										
12:00									(昼食休憩)			
13:00		*研究紹介 :工学部 “液晶の世界” 電子情報工学科 教授 女川 博義 質疑応答										
14:00		液晶実演と パネル展示 (アンケート)		*夢の自動車 ソーラーカー 原理解説と 走行実演 (第2回目)	一日中 やってるよ!! (アンケート)		*研究紹介 :低温液化室 “極低温の世界 — 200℃では何 が起きるか — ” (第2回目) (アンケート)		*実験:理学部 “ひかりでみる 生命のしくみ” 生物学科 教授 笹山 雄一 (アンケート)			
15:00									15分休憩			
16:00									*実験:理学部 “化学と環境水” 地球化学科教授 水谷 義彦 (アンケート)			
17:00											(アンケート)	

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	4. 7. 6	宮 田 良 造		臨時用務員（人文学部・理学部作業員）
	4. 7. 13	細 川 由 美		事務補佐員（附属図書館）
退 職	4. 7. 15	柴 田 紀 子	事務補佐員（附属図書館）	平成4年7月14日限り退職した
	4. 7. 18	多 胡 久	技術補佐員（経理部主計課）	平成4年7月17日限り退職した
	”	森 野 勇	”（ ” ）	”
	”	平 井 徹	”（ ” ）	”
	”	藤 井 友 美	事務補佐員（教育学部）	”
	4. 7. 23	林 敏 和	”（附属図書館）	平成4年7月22日限り退職した
	”	中 村 繁 之	”（ ” ）	”
	”	高 越 義 一	”（ ” ）	”
	”	杉 森 真 希 子	”（ ” ）	”

関 係 法 令

(省令)

○ 文部省関係研究交流促進法施行規則（文部30）

7. 1

○ 人事院規則9-17（俸給の特別調整額）の一部を
改正する人事院規則（同9-17-38） 7. 1

(規則)

○ 人事院規則8-12（職員の任免）の一部を改正する
人事院規則（人事院8-12-4） 7. 1

○ 人事院規則9-2（俸給表の適用範囲）の一部を
改正する人事院規則（同9-2-16） 7. 1

(告示)

○ 旅券法第3条第2項第2号の規定に基づき一般旅
券の申請に係る書類の一部につきその提出を要し
ないこととしうる場合を指定する件（外務314）

7. 16

諸 会 議

平成4年度第3回事務協議会（7月3日）

(議 題)

(1) 当面の諸問題について

(1) 作業部会の検討状況について

(2) 新教育課程の編成について

(3) その他

平成4年度第1回学寮補導委員会（7月3日）

(審議事項)

- (1) 水道料の負担割合について
- (2) 寮生との話し合い（いわゆる団交）について
- (3) その他

第4回自己点検・評価に関する検討委員会（7月7日）

(議 題)

- (1) 「富山大学における自己点検・評価のあり方について（答申）」（案）
- (2) その他

平成4年度第2回新教育課程実施委員会（7月3日）

(議 題)

平成4年度第3回新教育課程実施委員会（7月14日）

(議 題)

- (1) 新教育課程の編成について
- (2) その他

- (2) 平成5年度富山大学学生募集要項(案)について
- (3) 平成6年度における入学者選抜第2次試験の実施方式・日程等について

平成4年度第6回評議会(7月17日)

(審議事項)

- (1) 富山大学自己点検・評価に関する検討委員会からの答申の対応等について
- (2) 富山大学理学部規則の一部改正について
- (3) 平成4年度学内予算配分(案)について
- (4) その他

平成4年度第3回入学試験委員会(7月21日)

(審議事項)

- (1) 平成5年度富山大学学生募集要項(案)について
- (2) 平成6年度における入学者選抜第2次試験の実施方式・日程等について

平成4年度第1回入学者選抜方法研究委員会(7月20日)

(審議事項)

- (1) 第8期調査研究について
- (2) その他

平成4年度第4回附属図書館商議会(7月24日)

(審議事項)

- (1) 平成4年度図書購入費の選定枠について
- (2) 留学生用図書購入費について
- (3) 附属図書館自己点検評価について

平成4年度第4回事務協議会(7月21日)

(議題)

- (1) 当面の諸問題について

平成4年度第3回補導協議会(7月31日)

(審議事項)

- (1) 学生の補導について
- (2) その他

平成4年度第3回入学試験実施委員会(7月21日)

(審議事項)

- (1) 入学試験実施委員会問題作成委員会委員について

学 内 規 則

富山大学理学部規則の一部改正

富山大学理学部規則の改正理由

- 1 数学科に情報数理講座が新設されたことに伴い、情報数理に関する授業科目を新設し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。
- 2 「材料科学」及び「放射線基礎学」の授業科目を開設し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成4年7月17日

富山大学長 小黑 千足

富山大学理学部規則の一部を改正する規則

富山大学理学部規則(昭和52年5月16日制定)の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。(別添のとおり)

附 則

この規則は、平成4年10月1日から施行する。ただし、数学科の表の改正については、平成3年度入学者から適用する。

別 添

数 学 科

専 攻 科 目	単 位 数		関 連 選 択 科 目	単 位 数	自 由 選 択 科 目
	必 修	選 択			
代 数 学 I	2		力 学 学	4	他学科及び他学部の専門教育科目(教職科目を除く。)のうちから選択するものとする。ただし、専攻科目のうちからも選択することができる。
代 数 学 演 習	1		力 学 演 習	2	
代 数 学 II		2	電 磁 気 学	4	
代 数 学 特 論 A		2	電 磁 気 学 演 習	2	
代 数 学 特 論 B		4	光 学 学	1	
幾 何 学 I	2		光 学 特 論	1	
幾 何 学 II		2	熱 力 学 統 計 力 学	4	
幾 何 学 I 演 習	1		熱 力 学 統 計 力 学 演 習	1	
幾 何 学 II 演 習		1	量 子 力 学	6	
幾 何 学 III		2	量 子 力 学 演 習	2	
幾 何 学 特 論		4	物 理 数 学	4	
位 相 数 学 I	2		物 理 数 学 演 習	2	
位 相 数 学 演 習	1		固 体 論 I	4	
位 相 数 学 II		2	相 対 論	2	
複 素 解 析 学 I	2		電 波 物 理 学 I	2	
複 素 解 析 学 演 習	1		原 子 物 理 学 序 説	2	
複 素 解 析 学 II		2	物 性 論 序 説	2	
解 析 学 特 論 A		4	地 球 物 理 学 序 説	2	
解 析 学 特 論 B		4			
解 析 学 特 論 C		4	専攻科目の選択科目のうちからも選択することができる。		
解 析 学 序 論 I	2				
解 析 学 序 論 I 演 習	1				
解 析 学 序 論 II	2				
実 関 数 論 I	2				
実 関 数 論 演 習		1			
実 関 数 論 II		2			
数 理 統 計 学		2			
確 率 論 I		2			
確 率 論 II		2			
数 理 統 計 学 特 論 A		4			
数 理 統 計 学 特 論 B		4			
応 用 解 析 学 I		2			
応 用 解 析 学 演 習		1			
応 用 解 析 学 II		2			
関 数 解 析 学 I		2			
関 数 解 析 学 II		2			
計 算 数 学 序 論	2				
計 算 数 学 序 論 演 習		1			
計 算 数 学 I		2			
計 算 数 学 II		2			
応 用 解 析 学 特 論 A		6			
応 用 解 析 学 特 論 B		2			
応 用 解 析 学 特 論 C		4			
情 報 数 理 学 I	2				
情 報 数 理 学 I 演 習		2			
情 報 数 理 学 II	2				
情 報 数 理 学 II 演 習		1			
量 子 数 理 学		2			
量 子 数 理 学 演 習		1			
現 像 解 析		2			
制 御 シ ス テ ム 理 論		2			
数 学 講 究	12				
計	37	86	計	47	

卒業に必要な単位数

専攻必修37単位(数学講究12単位含む。), 専攻選択25単位, 関連選択10単位, 自由選択4単位, 合計76単位

物理学科

専攻科目	単位数		関連選択科目	単位数	自由選択科目
	必修	選択			
熱力学統計力学	4		幾何学 I	2	他学科及び他学部の専門教育科目(教職科目を除く。)のうちから選択するものとする。ただし、専攻科目のうちからも選択することができる。
熱力学統計力学演習	1		応用解析学 I	2	
固体論 I		4	応用解析学演習	1	
低温物理学 ^{***}		2	応用解析学 II	2	
磁性		2	関数解析学 I	2	
半導体		1	関数解析学 II	2	
物性論序説		2	計算数学 I	2	
量子力学	6		計算数学 II	2	
量子力学演習	2		応用解析学特論 B	2	
物理学数学	4		基礎物理化学	2	
物理学数学演習	2		基礎有機化学	2	
量子力学特論		2	化学実験	2	
相対論		2	分析化学	2	
核物理学 I		2	無機化学	2	
核物理学 II		2	天然物化学	2	
力学	4		基礎形態学	2	
力学演習	2		基礎生理学	2	
物理実験学	2		基礎細胞学	2	
連続体力学		2	環境生物学序説	2	
粒子線回折		2	生物学実験	2	
固体論 II		2	基礎地球物理学	2	
原子物理学序説		2	基礎地質学	2	
電磁気学	4		基礎地球化学	2	
電磁気学演習	2		基礎雪氷学	2	
電波物理学 I		2	地球科学実験	2	
電波物理学 II		2	材料科学	2	
計算機演習		2	放射線基礎学	2	
電波天文学		1			
光学学	2		専攻科目の選択科目のうちからも選択することができる。		
光学特論		1			
レザー理論		2			
基礎科学実験 I	2				
基礎科学実験 II	2				
基礎科学実験 III	2				
物理学基礎実験		2			
物理学特別講義		※			
卒業論文	12				
計	53	39	計	53	

※印を付した物理学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

卒業に必要な単位数

専攻必修53単位(卒業論文12単位含む。), 専攻選択9単位, 関連選択8単位, 自由選択6単位, 合計76単位

化 学 科

専攻科目	単位数		関連選択科目	単位数	自由選択科目
	必修	選択			
化学平衡論	2		応用解析学 I	2	他学科及び他学部の専門教育科目(教職科目を除く。)のうちから選択するものとする。ただし、専攻科目のうちからも選択することができる。
化学反応論	2		応用解析学特論 B	2	
物理化学実験	3		物理学基礎実験	2	
物理化学特論 I		2	原子物理学序説	2	
物理化学特論 II		2	物性論序説	2	
物理化学特論 III		2	固体論 I	4	
物理化学特別講義		2	量子力学	6	
化学工学	2		物理実験学	2	
基礎物理化学		2	電磁気学	4	
構造化学	2		光学学	1	
化学結合論	2		生物学実験	2	
構造化学実験			基礎形態学	2	
構造化学特論 I		2	基礎生理学	2	
構造化学特論 II		2	基礎細胞学	2	
構造化学特論 III		2	環境生物学序説	2	
構造化学特別講義		2	生物物理化学	2	
分析化学	2		遺伝学	2	
無機化学	2		環境生理化学	2	
分析化学実験	3		地球科学実験	2	
分析化学特論 I		2	基礎地球物理学	2	
分析化学特論 II		2	基礎地質学	2	
分析化学特論 III		2	基礎地球化学	2	
分析化学特別講義		2	基礎雪水学	2	
無機化学特論		2	一般地質学	2	
無機化学特別講義		2	岩石学 I	2	
化学実験		2	陸水化学	2	
脂肪族化学	2		地球化学	2	
芳香族化学	2				
有機化学実験	3		専攻科目の選択科目のうちからも選択することができる。		
有機化学特論 I		2			
有機化学特論 II		2			
有機化学特論 III		2			
有機化学特別講義		2			
高分子化学		2			
基礎有機化学		2			
天然物化学	2				
複素環化学	2				
天然物化学実験	3				
天然物化学特論 I		2			
天然物化学特論 II		2			
天然物化学特論 III		2			
天然物化学特別講義		2			
生化		2			
材料科学		2			
放射線基礎学		2			
化学演習	1				
化学特別講義		※			
卒業論文	12				
計	48	60	計	61	

※印を付した化学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

卒業に必要な単位数

専攻必修48単位(卒業論文12単位含む。), 専攻選択16単位, 関連選択8単位, 自由選択4単位, 合計76単位

生物学科

専攻科目	単位数		関連選択科目	単位数	自由選択科目
	必修	選択			
形態学	2		幾何学 I	2	他学科及び他学部の専門教育科目(教職科目を除く。)のうちから選択するものとする。ただし、専攻科目のうちからも選択することができる。
系統学	2		応用解析学特論 B	2	
実験形態学		2	物性論序説	2	
種生物学	1		原子物理学序説	2	
形態学特論		2	熱力学統計力学	4	
系統学 [※] 特論		2	量子力学	6	
応用生物学		2	物理実験学	2	
基礎形態学		2	物理学基礎実験	2	
形態学実験	2		基礎物理化学	2	
系統学実験	2		基礎有機化学	2	
臨海実験Ⅰ又は野外実験Ⅰ		2	天然物化学	2	
臨海実験Ⅱ又は野外実験Ⅱ		2	化学平衡論	2	
生物学実験		2	化学反応論	2	
生理学	6		分析化学	2	
生物化学		2	脂肪族化学	2	
生物物理化学		2	芳香族化学	2	
動物生理学特論		1	生化学	2	
植物生理学特論		1	化学実験	2	
基礎生理学		2	古生物学	2	
生理学実験	4		地球化学	2	
細胞生物学	2		陸水化学	2	
遺伝学	2		基礎地球物理学	2	
植物発生学	2		基礎地質学	2	
情報高分子学		1	基礎地球化学	2	
微生物学		1	基礎雪氷学 [※]	2	
細胞生物学特論		2	地球科学実験	2	
遺伝学特論		1	材料科学	2	
基礎細胞学		2	放射線基礎学	2	
細胞学実験	2				
遺伝学実験	2		専攻科目の選択科目のうちからも選択することができる。		
形態学		1			
環境生理化学	2				
放射線生物学	2				
発生学	2				
環境科学特論		1			
海洋生物学		1			
環境生物学	2				
環境生物学序説		2			
環境生物学実験	3				
発生学実験		1			
生物学特別講義		※			
卒業論文	12				
計	52	37	計	62	

※印を付した生物学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

卒業に必要な単位数

専攻必修52単位(卒業論文12単位含む。), 専攻選択12単位, 関連選択10単位, 自由選択2単位, 合計76単位

富山大学新教育課程実施委員会内規の制定

富山大学新教育課程実施委員会内規の制定理由

富山大学新教育課程実施委員会における具体の作業を進めるため、富山大学新教育課程実施委員会規則第8条に基づく部会についての必要な事項を定める。

富山大学新教育課程実施委員会内規

第1条 全学に共通する科目に係る授業科目等について企画・編成するため、富山大学新教育課程実施委員会規則（平成4年5月15日制定）第8条の規定に基づき、次の部会を置く。

- (1) 人文科学系部会
- (2) 社会科学系部会
- (3) 自然科学系部会
- (4) 外国語系部会
- (5) 保健体育系部会
- (6) 情報処理教育部会
- (7) 言語表現教育部会
- (8) 総合科目部会

2 部会は、当該分野に係る次の事項を担当する。

- (1) 主題、開講授業科目及び授業時数の設定
- (2) 授業担当教官（学外非常勤講師を含む。）の選任
- (3) 講義要録のとりまとめ
- (4) 授業時間割表の作成
- (5) その他の教育課程に関する事項

3 部会に部会長を置き、部会長は部会に係る事項を総括する。

第2条 部会に専門的事項を担当するため、次の分科会を置く。

- (1) 人文科学系部会
 - ア 思想と倫理分科会
 - イ 心理と教育分科会
 - ウ 歴史の世界分科会
 - エ 文学と芸術分科会
 - オ 言語と文化分科会
- (2) 社会科学系部会
 - ア 社会科学の方法分科会
 - イ 法と政治分科会
 - ウ 産業と経済分科会
 - エ 地域と生活分科会

オ 現代社会論分科会

(3) 自然科学系部会

ア 地球と環境分科会

イ 生命の世界分科会

ウ 自然の構造分科会

エ 数理の世界分科会

オ 技術の世界分科会

カ 生活の科学分科会

キ 情報の科学分科会

(4) 外国語系部会

ア 英語分科会

イ その他の外国語分科会（仮称）

(5) 保健体育系部会

保健体育分科会

(6) 情報処理教育部会

情報処理分科会

(7) 言語表現教育部会

言語表現分科会

2 分科会に分科会長を置き、分科会長は当該分科会に係る事項を総括する。

3 分科会は、対応する富山大学教育課程編成方針Ⅲの6の(1)の授業主題の教科部から選出された委員各若干名をもって構成する。

第3条 部会は、当該部会に係る各分科会を代表する者若干名をもって構成する。ただし、総合科目部会は、各分科会（前条第1項の6号及び7号を除く。）を代表する者各1名をもって構成する。

第4条 部会間における連絡調整が必要な場合は、関係部会間の連絡調整会議を設けることができる。

2 連絡調整会議に必要な事項は、当該部会間で定める。

附 則

この内規は、平成4年7月17日から施行する。

叙 位 ・ 叙 勲

元本学教授和崎洋一氏は、平成4年6月29日逝去（享年71歳）されましたが、同氏の生前の功績に対し、同日付けで正六位に叙され、勲四等旭日小受章が授与されました。

学 位 取 得

学位取得者 人文学部助教授 宇野隆夫
学位の種類 文学博士（大阪大学）
取得年月日 平成4年6月23日
学位論文名 律令社会の考古学的研究
— 北陸を舞台として —



第34回（平成4年度）

『教育・文化週間』

平成4年11月1日（日）～ 11月7日（土）

「教育・文化に関する関心と理解を深めよう!!」

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	助教授	高安 紀	ハンガリー ドイツ	第10回国際触媒学会に出席等	4. 7. 14) 4. 8. 1
	〃	助手	吉田 尚弘	タイ	熱帯湿地林のガス代謝調査	4. 7. 15) 4. 7. 29
	工学部	助教授	黒田 重靖	カナダ	第7回新規な芳香族化合物に関する国際会議で研究発表等	4. 7. 17) 4. 7. 30
	教育学部	教授	塚野 州一	ベルギー	第25回国際心理学ブリュッセル会議に出席	4. 7. 18) 4. 7. 26
	工学部	〃	竹越 栄俊	カナダ, アメリカ オーストリア, ドイツ, 連合王国	粉体を利用した断熱に関する研究	4. 7. 28) 4. 9. 27
	〃	講師	吉田 正道	カナダ	国際乾燥工学シンポジウムで研究発表等	4. 7. 30) 4. 8. 10
海外研修	理学部	助教授	小松美英子	アメリカ合衆国	北アメリカ棘皮動物会議に出席等	4. 7. 1) 4. 7. 12
	教育学部	教授	清水 建次	中国	第2回磁性体の物理国際シンポジウムに出席等	4. 7. 2) 4. 7. 13
	〃	講師	市川 文彦	アメリカ合衆国	ヨーロッパ・アメリカ世界における経済発展に関する調査・研究等	4. 7. 9) 4. 7. 28
	教養部	助教授	メアリー・アン・ムラジアン	アイルランド 連合王国 アメリカ合衆国	アングロ・アイリッシュ文学国際学会において研究発表等	4. 7. 10) 4. 8. 24
	工学部	〃	松郷 誠一	フランス ベルギー	第14回IUPAC国際光化学会議に出席等	4. 7. 14) 4. 7. 26
	経済学部	教授	飯田 剛史	大韓民国	在日韓国人の社会的ネットワーク研究に関する資料収集	4. 7. 16) 4. 7. 20
	人文学部	〃	藤本 幸夫	大韓民国	朝鮮本調査, 資料収集	4. 7. 17) 4. 8. 27
	経済学部	〃	居林 次雄	連合王国	会社法に関する研究等	4. 7. 19) 4. 8. 1

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修	教育学部	教授	中川 眸	ドイツ	第17回国際家政学会議に出席等	4. 7. 24) 4. 8. 7
	〃	〃	中村 義朗	大韓民国	第20回ISME（国際音楽教育協会）国際会議に出席等	4. 7. 26) 4. 7. 30
	人文学部	〃	福田 立明	連合王国 フランス	エドガー・A・ポーの文学の受容，研究が早かった西欧三カ国における研究現状の調査及びポー滞在地の調査	4. 7. 29) 4. 8. 13

職 員 消 息

《新任者住所》

附属図書館

事務補佐員 細川 由美
(閲覧係)

文部技官 松田 健二
(材料設計工学)

《住所変更》

教育学部

文部事務官 恩田 義孝
(学務係)

工学部

文部事務官 森 慶二
(事務長)



お知らせ

平成4年8月7日

人事院勧告の概要

人事院は、平成4年8月7日（金）国会と内閣に対し、国家公務員法及び一般職の職員の給与等に関する法律の規定に基づき、一般職の職員の給与、勤務時間等について

報告及び勧告を行いました。

給与勧告の骨子及び職員の勤務時間等に関する報告の骨子並びに本学関連の俸給表は、以下のとおりです。

＜給与勧告の骨子＞

勧告に際しては、社会経済情勢全般の動向を踏まえつつ、民間給与との均衡を図ることを基本とし、広く各界から意見聴取を行うなど様々な角度から検討

一 官民較差

- 1 較差 9,072円 2.87% (内訳 本較差 2.34% 遡及改定分 0.53%)
- 2 配分 俸給 7,920円 諸手当 651円 はねかえり分 501円 計 9,072円
行政職(一)・(二) 現行給与 316,175円 平均年齢 39.8歳

二 改定の内容

1 俸給表

(1) 初任給

試験		俸給月額	調整手当を含んだ額 (10%地域の場合)
大学卒	I種試験	175,300円(現行168,000円)(4.3%引上げ)	192,830円(現行184,800円)
〃	II種試験	161,400円(現行153,700円)(5.0%引上げ)	177,540円(現行169,070円)
高校卒	III種試験	131,900円(現行124,900円)(5.6%引上げ)	145,090円(現行137,390円)

(2) 配分

行 (一)	級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
	引上率(%)	5.3	4.4	3.5	2.8	2.6	2.4	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.9

- (3) 各俸給表
 - ・昇格制度の改善措置の効果(在職者調整分を含む)をも念頭に置いた行政職との権衡を基本に改定
 - ・看護婦、公安職、若手研究員等に配慮

2 手当

- (1) 扶養手当の改定
 - 子、孫及び弟妹について、満22歳に達する日以後の最初の年度末まで支給できるよう改善
- (2) 通勤手当の改定

ア 交通機関等利用者 現行どおり

イ 自動車等使用者 片道10km以上の区分について月額300円から2,100円の増額

(例) 片道10km以上15km未満 月額 6,200円 → 6,500円

片道40km以上 月額 18,800円 → 20,900円

(3) 住居手当の改定

ア 借家・借間（基礎控除額 11,000円 → 12,000円）

全額支給限度額 10,000円 → 11,000円

1/2加算限度額 13,000円 → 15,000円

注) 最高支給限度額 月額26,000円（現行23,000円）

イ 自 宅 現行どおり

(4) 医師の初任給調整手当の改定

ア 医療職(一)の医師 最高 276,000円 → 285,000円

イ 医療職(一)以外の医師（医系教官等） 最高 48,500円 → 49,500円

(5) 宿日直手当の改定

ア 一般の宿日直 2,900円 → 3,200円

イ その他の宿日直 (例) 業務当直 3,600円～5,100円 → 4,000円～5,600円

(6) 調整手当支給地域に係る支給割合の適性化

ア 東京都特別区 10/100 → 12/100（ただし、平成6. 3. 31までは11/100）

イ 7市1町 10/100 → 6/100（経過措置あり）

3 その他

官民給与の比較方法の見直しを引き続き進めるほか、中途採用者の初任給決定方法の在り方を検討する旨表明

三 実施時期

平成4年4月1日 ただし、宿日直手当は平成5年1月1日、調整手当は平成5年4月1日

四 その他

- ・人材確保のため、勤務条件の着実な改善、多面的評価のための試験方法の見直し等を進める旨表明
- ・活力ある高齢社会を築くため高齢者雇用の促進が求められている中で、公務においても、意欲と能力のある高齢者を公務内で活用する道を目指す必要性を指摘し、職務配置、給与等の課題の検討を更に進める旨表明

《職員勤務時間等に関する報告の骨子》

1 勤務時間をめぐる状況

- 公務能率向上の努力

本年5月から完全週休2日制を基本とした週40時間勤務制が実現

引き続き事務の合理化・効率化、適正な勤務時間管理、行政運営の改善努力等が必要

- 「生活大国5か年計画」の策定

生活大国5か年計画（平成4年6月閣議決定）の策定を踏まえ、公務部門においても勤務時間・休暇等の勤務条件を見直し、勤務時間等に関する新たな施策の展開が必要

2 フレックスタイム制の導入

(1) フレックスタイム制をめぐる状況

- 「生活大国5か年計画」における必要性の指摘、科学技術会議の答申における同制度の推進の提言

○ 民間の導入状況（平成4年職種別民間給与実態調査）

企業規模500人以上の事業所の研究部門の普及率は本年度中に50%を超える見込み

(2) フレックスタイム制導入の必要性

研究者の職務内容や勤務の実態に応じた勤務時間の弾力的な配分により、職業生活と個人生活との調和を図るとともに、研究成果の向上や人材確保等の効果を期待

(3) フレックスタイム制の概要

ア 対象職員……原則として研究職俸給表の適用を受ける職員

イ 実施単位……原則として試験研究機関単位

ウ 勤務時間の割振り……各庁の長が職員の希望を考慮して割り振り、日曜日及び土曜日は勤務を要しない日とする

エ コアタイム及びフレキシブルタイムを設定（下記を原則）

・コアタイム（1日のうち必ず勤務しなければならない時間帯）：10時～15時（休憩時間を除く）

・フレキシブルタイム（職員の希望を考慮して勤務時間を設定できる時間帯）：7時～10時及び15時～22時

オ 勤務時間の割振り単位機関……原則として4週間を単位期間とし、1週間平均40時間

カ 実施時期……平成5年4月

なお、今回の実施状況等を見定め、今後、他の職種への適用拡大等も検討

3 効率的かつ健康に配慮した執務の推進

(1) 超過勤務の縮減

本省庁等特定の部署における長時間の超過勤務を改善するため、次の点を中心に政府全体としての取組を一段と強化するよう要請し、人事院としてもその取組状況をフォロー

ア 事務の簡素化・合理化についての管理者の率先努力と各省庁人事管理当局による深夜・休日勤務の実態把握

イ 予算折衝、法令協議、政策調整等いわゆる省際業務等については、深夜にわたる超過勤務を生じさせないようなルールの全省庁的なレベルでの確立・遵守

ウ 国会関係業務については、一層迅速・的確に対応するため質問等の早期通知を受けるような努力

(2) 年次休暇の活用

業務繁忙等により年次休暇を十分に使用できない職員の休暇使用を促進するため、業務の繁閑等に応じた年次休暇の計画表を作成・活用

4 勤務時間・休暇等に関する法制整備

複雑で分かりにくい勤務時間、休暇等の現行法制について、新たな法律の制定をはじめとする法制整備の検討に着手。週勤務時間、勤務時間の割振り基準等現行制度の体系的な整備を中心としつつ、社会の変化に対応した勤務時間弾力化の新たな枠組み、休暇・休業制度の再編整備等も検討

行政職俸給表(一)

職務 の 級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	11 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1	—	—	175,300	205,000	221,700	240,900	259,200	279,500	312,500	350,700	399,200
2	127,800	161,400	181,200	212,800	230,000	249,400	268,000	288,900	324,200	363,000	413,900
3	131,900	167,800	187,300	220,700	238,500	257,900	277,100	298,500	336,000	375,500	428,800
4	136,200	174,600	193,600	229,000	246,700	266,500	286,200	308,500	347,800	388,000	443,700
5	141,000	180,100	200,300	237,400	254,800	275,200	295,500	318,600	359,600	400,700	458,700
6	146,600	184,700	207,800	245,600	262,900	283,900	304,900	328,600	371,500	413,300	473,700
7	152,300	189,300	215,000	253,500	271,100	292,700	314,600	338,700	383,700	425,800	489,000
8	157,900	193,800	222,100	261,400	279,200	301,900	324,300	348,800	395,900	438,300	504,500
9	162,100	198,000	228,200	269,200	287,300	311,100	334,100	358,800	408,000	450,800	519,700
10	165,400	202,200	234,200	277,000	295,400	320,700	343,900	368,800	419,600	463,300	534,800
11	168,200	206,500	240,100	284,700	303,500	330,500	353,600	378,800	430,800	474,300	546,700
12	170,800	210,700	245,800	292,300	311,400	340,200	362,900	388,800	441,900	484,500	554,600
13	173,300	214,900	251,300	299,700	319,300	349,900	371,900	398,600	451,300	493,200	562,100
14	175,400	218,200	256,500	307,100	327,000	359,200	379,900	408,100	459,200	500,400	568,300
15	177,500	221,300	261,500	313,800	333,300	367,700	387,000	415,800	466,800	505,000	573,100
16	179,100	224,400	266,400	320,200	339,100	374,500	393,400	423,000	472,200		
17		227,400	270,900	324,900	344,400	381,000	399,000	427,800	476,800		
18		230,200	274,800	329,000	348,800	385,600	403,900	432,400	481,100		
19		232,200	278,400	333,100	352,900	390,100	408,500	436,800			
20			281,300	336,100	356,700	394,500	412,900	440,700			
21			284,100	339,000	360,000	398,900	416,800	444,500			
22			286,800	341,800	363,300	403,000	420,500				
23			289,500	344,800	366,700	406,700					
24			292,000	347,900	370,000	410,300					
25			294,500	350,800	372,800						
26			296,900	353,600	375,600						
27			299,300	356,000							
28			301,700	358,400							
29			304,100								
30			306,400								
31			308,600								
32			310,800								

行政職俸給表(二)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円
1	—	155,900	172,900	189,000	212,800	239,500
2	114,500	162,200	178,200	194,500	219,300	246,300
3	118,100	167,500	183,600	200,300	225,800	253,200
4	121,500	172,800	189,000	206,500	232,300	260,800
5	124,800	177,500	194,400	212,700	238,900	268,500
6	128,600	182,200	200,100	219,000	245,400	276,600
7	133,100	186,900	206,000	224,800	251,600	284,600
8	137,600	191,600	211,800	230,400	257,400	292,800
9	143,200	196,300	217,600	236,000	263,000	301,100
10	149,100	201,200	223,200	241,500	268,600	309,200
11	155,700	206,100	228,500	246,500	274,300	317,200
12	162,000	210,800	233,700	251,500	279,900	325,200
13	167,200	215,500	238,800	256,500	285,500	333,100
14	172,100	220,000	243,600	261,500	291,000	340,000
15	176,400	224,500	248,400	266,500	296,500	346,900
16	180,600	228,600	253,100	271,700	301,900	353,800
17	184,500	232,400	258,000	276,200	307,100	360,500
18	188,300	236,200	263,000	280,500	311,900	366,600
19	191,500	239,900	267,500	284,200	316,500	372,100
20	194,200	242,500	271,800	287,800	320,800	377,200
21	196,900	244,800	275,000	291,200	324,800	382,100
22	199,700	247,100	278,000	294,500	328,700	386,400
23	202,500	249,300	280,600	297,600	331,600	389,800
24	205,100	251,400	283,200	300,700	334,300	
25	207,500	253,500	285,600	303,500	336,800	
26	209,600	255,600	288,000	306,100	339,200	
27	211,800	257,800	290,400	308,600	341,600	
28	213,900	260,000	292,800	310,900		
29	216,000	262,100	295,100	313,100		
30	218,000	264,100	297,400	315,300		
31	219,800	266,000	299,400			
32	221,600	267,900				
33		269,800				

教育職俸給表(一)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円
1	—	—	234,800	267,500	336,600
2	152,700	191,900	243,200	278,100	348,100
3	160,300	200,000	251,800	288,700	359,900
4	169,600	208,200	260,600	299,300	371,700
5	179,200	216,500	270,000	310,000	383,600
6	186,500	224,900	279,500	320,900	395,500
7	193,600	233,300	289,400	331,700	407,400
8	200,600	241,600	299,400	342,500	419,300
9	208,100	250,000	309,000	353,200	431,200
10	216,300	258,400	318,600	363,800	443,100
11	222,800	267,100	328,100	374,200	455,100
12	230,700	275,600	337,600	383,700	467,300
13	238,200	284,000	347,100	393,000	479,500
14	245,400	291,500	356,600	402,200	491,800
15	252,000	298,900	366,100	411,000	504,300
16	258,500	305,700	375,100	419,400	516,500
17	264,600	312,100	383,800	427,600	527,300
18	270,700	318,700	392,200	435,700	538,100
19	276,800	325,200	400,400	443,500	548,700
20	282,700	331,500	408,400	451,100	558,700
21	288,400	337,800	416,100	458,600	567,800
22	293,900	344,100	423,700	466,100	574,700
23	299,000	350,300	430,500	472,900	579,800
24	304,100	356,400	437,200	479,500	584,600
25	308,200	362,400	442,000	485,500	
26	312,300	367,700	445,900	489,700	
27	316,100	371,800	449,700	493,300	
28	319,800	375,500	453,600	496,800	
29	322,600	379,100	456,900		
30	325,300	382,700	460,100		
31	328,000	386,300			
32	330,700	389,900			
33	333,300	393,400			
34	335,900	396,600			
35	338,500	399,700			
36	341,000	402,700			
37	343,400				
38	345,800				

教育職俸給表(二)

職務 の 級 号 俸	1 級	2 級	3 級	4 級
	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額
	円	円	円	円
1	—	—	287,400	384,700
2	139,900	180,800	297,000	394,700
3	146,100	187,300	306,500	404,700
4	152,700	193,800	316,200	414,700
5	160,200	200,500	325,900	424,800
6	168,600	207,300	335,600	434,900
7	177,400	214,200	345,300	445,100
8	183,800	221,200	355,100	455,300
9	190,100	228,500	364,900	465,600
10	196,400	236,300	374,900	476,100
11	202,800	244,300	384,800	486,300
12	209,200	253,300	394,600	495,900
13	215,900	262,400	403,900	504,300
14	222,900	271,500	413,300	512,000
15	229,900	280,700	422,500	516,600
16	237,100	289,900	431,700	
17	244,100	299,100	440,800	
18	251,200	308,600	450,100	
19	258,200	318,000	459,300	
20	264,600	327,400	467,700	
21	270,900	336,800	475,900	
22	276,900	346,200	483,700	
23	282,800	355,500	490,600	
24	288,700	364,900	494,800	
25	294,600	373,800		
26	300,500	382,000		
27	306,400	390,200		
28	312,100	398,500		
29	317,500	406,700		
30	321,600	413,800		
31	325,500	420,800		
32	329,200	426,600		
33	332,600	431,800		
34	335,400	436,700		
35	338,100	441,200		
36	340,700	444,200		
37	343,200			
38	345,700			
39	347,900			
40	350,100			

教育職俸給表(三)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額
	円	円	円	円
1	—	—	249,100	380,400
2	139,900	154,800	258,500	389,300
3	146,100	162,700	268,100	398,200
4	152,700	171,100	277,700	407,100
5	160,200	180,800	287,400	416,100
6	168,600	187,300	297,000	425,200
7	177,400	193,800	306,500	434,300
8	183,800	200,500	316,200	443,100
9	190,000	207,300	325,900	451,200
10	196,200	214,200	335,500	459,200
11	202,200	221,200	345,100	466,700
12	208,200	228,500	354,100	474,100
13	214,300	236,300	362,900	480,400
14	220,900	244,300	371,700	485,600
15	227,100	253,300	380,500	489,700
16	233,300	262,400	388,900	
17	239,400	271,500	397,200	
18	245,400	280,700	405,600	
19	251,300	289,900	414,000	
20	257,000	299,100	422,200	
21	262,300	308,600	430,000	
22	267,500	317,900	436,800	
23	272,300	327,200	443,200	
24	276,900	336,500	448,500	
25	280,700	345,000	452,900	
26	284,400	353,300	456,700	
27	287,700	361,500	459,800	
28	290,600	369,400	462,800	
29	293,200	377,000		
30	295,700	384,000		
31	298,000	390,900		
32	300,400	397,600		
33	302,500	403,800		
34		409,900		
35		415,200		
36		419,800		
37		424,200		
38		428,000		
39		430,600		

医療職俸給表(二)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円	円
1	—	—	193,100	214,900	249,300	288,800	322,500	388,000
2	132,100	166,300	199,500	222,600	258,200	298,300	334,200	400,500
3	137,300	172,200	206,300	230,400	267,200	308,000	346,000	413,200
4	143,700	178,200	213,800	238,400	276,300	317,700	357,800	426,200
5	150,100	184,200	221,400	246,500	285,300	327,400	369,600	439,300
6	157,100	190,200	229,100	254,600	294,300	337,300	381,600	452,400
7	164,000	196,200	237,000	262,700	303,600	347,300	394,000	466,200
8	169,800	202,200	244,900	271,000	313,100	357,300	406,400	480,300
9	175,500	208,700	252,800	279,200	322,600	367,500	418,500	494,000
10	180,400	215,600	260,700	287,500	332,200	377,800	430,100	507,300
11	185,200	222,400	268,600	295,800	342,000	388,000	441,600	515,300
12	189,800	228,600	276,500	304,100	351,300	398,000	451,300	522,600
13	194,200	234,700	284,300	312,300	360,300	407,700	459,200	529,500
14	198,200	240,800	292,100	320,300	368,800	415,600	466,800	536,100
15	202,400	246,500	299,800	328,300	375,900	422,900	474,300	541,500
16	206,700	252,000	307,400	334,600	382,700	427,800	478,800	546,000
17	210,900	257,200	314,500	340,600	388,600	432,400	483,100	
18	215,100	262,300	321,300	346,500	394,200	436,800		
19	218,500	267,100	326,300	350,800	398,900	440,700		
20	221,500	271,800	331,000	355,000	403,300	444,500		
21	224,400	275,400	335,000	359,100	407,600			
22	226,800	278,200	338,200	362,800	411,300			
23	228,800	281,000	341,200	366,300	414,900			
24		283,600	344,100	369,500				
25		286,100	347,000	372,400				
26		288,300	349,800	375,200				
27			352,600	378,000				
28			355,100					
29			357,500					
30			359,900					

医療職俸給表(三)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円
1	—	—	207,900	228,100	257,900	292,400	324,400
2	144,500	170,100	213,600	235,000	265,900	301,700	336,200
3	149,800	177,900	220,700	242,000	274,100	311,200	348,000
4	155,500	186,000	227,600	249,000	282,200	321,100	359,800
5	161,200	191,300	234,400	256,000	290,200	331,100	371,700
6	169,100	196,600	241,200	263,200	298,300	341,100	383,900
7	176,900	201,900	248,000	270,500	306,400	351,200	396,200
8	184,700	207,400	254,900	277,800	314,400	361,300	408,500
9	189,400	213,100	261,800	285,200	322,300	371,500	420,600
10	194,100	219,700	268,800	292,800	330,300	382,000	432,600
11	198,800	226,400	275,900	300,300	338,300	392,600	444,500
12	203,600	233,100	283,100	307,800	346,400	402,900	455,400
13	208,400	239,800	290,300	315,300	354,500	413,100	464,700
14	213,200	246,400	297,600	322,800	362,700	423,000	473,700
15	218,400	253,000	304,900	330,200	370,900	432,700	482,100
16	223,800	259,600	312,100	337,400	379,200	441,700	489,500
17	229,100	266,100	319,100	344,700	387,000	450,400	494,500
18	234,400	272,500	326,000	351,900	393,900	458,600	498,800
19	239,600	278,500	332,800	359,000	399,400	465,900	502,800
20	244,700	284,500	339,500	365,200	404,500	470,700	
21	249,600	290,300	346,200	371,000	409,500	474,900	
22	254,500	295,900	352,500	376,700	413,600	478,600	
23	259,000	301,400	358,000	381,100	417,100		
24	263,300	306,800	363,300	385,200	419,800		
25	267,500	312,200	368,100	388,900			
26	271,700	317,400	371,900	392,400			
27	275,500	321,900	375,700	395,300			
28	279,100	326,300	378,800	397,900			
29	282,000	330,500	381,800				
30	284,800	333,300	384,500				
31	287,500	336,100	387,000				
32	290,200	338,800					
33	292,800	341,400					
34	295,300	344,000					
35	297,600	346,400					
36	299,900	348,800					
37	302,100	351,200					
38	304,300	353,600					

指定職俸給表

号 俸	俸 給 月 額
	円
1	5 5 7, 0 0 0
2	6 1 7, 0 0 0
3	6 8 6, 0 0 0
4	7 6 1, 0 0 0
5	8 2 0, 0 0 0
6	8 8 1, 0 0 0
7	9 6 1, 0 0 0
8	1, 0 4 0, 0 0 0
9	1, 1 1 7, 0 0 0
10	1, 1 9 5, 0 0 0
11	1, 2 6 6, 0 0 0
12	1, 2 9 2, 0 0 0

備考

- 各俸給表の備考は、現行どおりとする。
- 改定後の俸給表適用の日における職員の職務の級及び号俸は、その適用の日の前日における職務の級及び号俸と同一とする。

主 要 行 事

本 部

7月1～2日	平成4年度留学生交流研究協議会（於：大分大学）	8日	平成5年度富山大学入学者選抜要項公表
2日	第3回新教育課程実施委員会作業部会	9日	第4回入学者選抜方法研究委員会専門委員会
3日	第3回事務協議会		第4回新教育課程実施委員会作業部会
	第1回学寮補導委員会	8～9日	平成5年度概算要求説明（於：文部省）
	第2回新教育課程実施委員会	12日	第44回北陸地区国立大学体育大会開会式（於：金沢大学）
6日	人事関係事項説明聴取（於：文部省）	13日	部課長会議
	第1回入学試験実施委員会専門委員会	14日	平成4年度学生健康保険組合理事会
7日	第4回自己点検・評価に関する検討委員会		第2回入学試験実施委員会専門委員会
			第3回新教育課程実施委員会
7～10日	第7回（平成4年度）北陸地区国立学校等監督者研修（於：金沢大学及び辰	15日	国費外国人留学生（日本語・日本文化

	研修留学生) 受入れに関する打合せ会 (於: 国立教育会館)	22日	教授会 研究科委員会
16日	平成4年度学内予算配分方針説明会 国費外国人留学生(教員研修留学生) の受入れに関する打合せ会(於: 国立 教育会館)	27日	予算委員会
	平成4年度富山大学と高等学校との入 学試験に関する懇談会	28日	特別昇給委員会
	第5回新教育課程実施委員会作業部会	29日	教授会 教授会(人事)
17日	第6回評議会 第4回部局長懇談会	31日	大学説明会(学部)
	第4回国際交流委員会留学生部会		
20日	実験廃棄物に関する講習会 第1回入学者選抜方法研究委員会		
	第6回新教育課程実施委員会作業部会		
20~24日	平成4年度富山大学リカレント学習コー ス		
21日	第4回事務協議会 第3回入学試験実施委員会 第3回入学試験委員会		
21~23日	平成4年度国立学校事務電算化講習会 (於: 京都大学及び御車会館)		
21~24日	第8回(平成4年度)北陸地区国立学 校等監督者研修(於: 金沢大学及び辰 口共同研修センター)		
22~24日	平成4年度厚生補導研究協議会(於: 国立教育会館)		
23日	第1回教務委員会		
27日	五福地区構内清掃 平成4年度第1回富山県留学生交流推 進会議運営委員会		
30~31日	平成4年度全国保健管理協会東海・北 陸地方部会研究集会(於: 金沢市観光 会館)		
31日	第3回補導協議会 平成4年度富山大学説明会		

教 育 学 部

7月	1日	カリキュラム委員会
	3日	大学院設置準備委員会
	6日	カリキュラム委員会
	7日	学部自然観察実習センター委員会
	8日	学部教務・補導合同委員会 学部教務委員会 教授会 人事教授会
	11日	前学期授業終了
	13日	カリキュラム委員会
	15日	カリキュラム委員会
	17日	拡大学院部将来計画委員会
	18日	附属中学校第1学期終業式 附属幼稚園第1学期終業式
	20日	大学院設置準備委員会 附属小学校第1学期終業式 附属養護学校第1学期終業式
	22日	学部教務委員会 人事教授会
	23日	学部予算委員会 教授会
	31日	学部補導委員会 学部説明会

経 済 学 部

人 文 学 部

7月	8日	予算委員会	7月	1日	学部教務委員会 人事教授会 教授会
	13日	教授会 教授会(人事)		3日	学部案内作成委員会
				6日	係長会議

8日 学部教育改善検討委員会
経済学部長候補者選挙選挙管理委員会
学部補導委員会
13日 論集委員会
15日 学部等図書委員会
学部教務委員会
人事教授会
教授会
18日 授業終了
21日 係長会議
21～22日 平成4年度春季国立12大学経済・経営
学部長及び事務長会議（於：小樽商科
大学）
27日 係長会議

13日 学部拡大教務委員会
14日 授業終了
15日 学部欧文概要編集委員会
紀要委員会
16日 学部概要編集委員会
学部運営委員会
17日 技官連絡会
20日 博士課程設置準備委員会
21日 学部安全委員会
22日 北陸信越工業教育協会富山県支部総会,
講演会（於：(株)不二越）
23日 学部運営委員会
専任教授会
学部概要編集委員会
28日 教授会
専任教授会
29日 学部欧文概要編集委員会
31日 工学部説明会

理 学 部

7月 1日 学科主任会議
6日 学部教務委員会
8日 教授会
人事教授会
15日 学部自己点検・評価委員会
大学院設置構想推進委員会
22日 学科主任会議
24日 学科主任会議
29日 教授会
研究科委員会
人事教授会
31日 大学説明会（学部）

工 学 部

7月 3日 学部欧文概要編集委員会
6日 係長連絡会，学部教務委員会
7日 学部入学試験検討委員会
8日 教授会
工学研究科委員会
専任教授会
博士課程設置準備委員会
9日 編入学試験合格者発表
10日 学部欧文概要編集委員会

教 養 部

7月 1日 人事教授会
6日 補導委員会
将来計画・教務合同委員会
8日 教授会
将来計画委員会
15日 教務委員会
20日 予算委員会
夏季休業（～8月31日まで）
夜間主コース夏季休業（～8月31日ま
で）
21日 特昇その他給与に関する委員会
将来計画委員会
22日 予算委員会
教務委員会
24日 教授会

附 属 図 書 館

7月 6日 係長連絡会
6～8日 CD-ROM情報検索システム利用説明会

- 9～10日 I L Lシステム講習会（於：学術情報センター）
- 13～17日 目録システム講習会（於：富山医科薬科大学附属図書館及び富山大学附属図書館）
- 13～31日 大学図書館職員長期研修（於：図書館情報大学，学術情報センター）
- 17日 書香編集委員会
- 23日 係長連絡会
- 24日 第4回附属図書館商議会

地域共同研究センター

- 7月 9日 第2回大学院生教育講座
第3回大学院生教育講座
- 10日 第1回技術セミナー
- 14日 経営者・研究者交流会実行委員会
- 17～18日 '92テクノフォーラム（於：立山国際ホテル）
- 28～3日 第1回産学研究実践講座

保健管理センター

- 7月 1日 眼科精密検査

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電 話 (24) 1755代